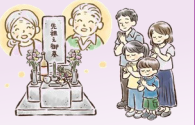


# 乗円寺 寺報



2025年 7月

お盆号

寺報から訊く 寺報No46

## 7月お盆のお知らせ

12日(土) | 13日(日)

14日(月) | 15日(火)

この期間はお寺を開放し  
待機しておりますので  
お墓・納骨堂の  
お参りに、お越し下さい。

7時～20時迄

### ● 七月、八月のお盆のお参りについて ●

早いもので一年の半分が終わり、七月のお盆が近づいてきました。今年はお家族とお参りしやすい土日が始まります。十二日から十五日の四日間、準備しております。お誘い合わせの上、お参り下さい。昨年からお墓のキリコかけは八月のお盆終了後に、撤去するようにいたしました。もし、八月の帰省時にお参りされる方がいらっしゃれば、そちらもご利用下さい。今年はお蓮の鉢に、新しい苗を入れてみました。例年、白の蓮が咲いて

いましたが、違う色の蓮の苗となっております。うまく咲くか、お盆の時期に見れるかは分かりませんが新作です。また、鉢には、黒のメダカも仲間入りました。可愛く泳いでいますので、こちらも見ていただければと思います。

### ● 門徒移動研修旅行・寺族学習研修旅行 ●

いろいろなお役をいただいている御縁で、五月はたくさんのお寺をお参りさせていただきました。能登復興支援目的の門徒移動研修旅行では、能登の真宗の中心、済美精舎(さ いびしようじゃ)、輪島の總持寺。寺族学習研修旅行では、福井の永平寺、京都の東本願寺、真宗佛光寺派 本山佛光寺に行きました。能登では、災害があったからこそ、手を合 わせたいと、お参りの場を大切にされる方がいること。寺院を巡っては、それぞれの歴史の中で大切にしていることを守り、新しい取り組みへ努力されている姿勢が印象に残りました。お声かけさせてもらい、お越しいただいた方、ありがとうございます。



### ● 前々住職、前々坊守 七回忌 ●

生前、お世話になっていた僧侶方をお招きして、前々住職、前々坊守の七回忌のお参りをさせていただきました。早いもので六年の時が過ぎました。今の私に何をとおっしゃってくださるかなと考えながら、思い出されたこと、これからやるべきことを見直す機会となりました。ご縁のある方の、区切り区切りのお参りを、共に大切にしていきたいです。



## 住職の独り言 ～自分の業縁～

日々過ごしておりますと、いろいろなことがあり ますね。それぞれに、いいこともあれば、大変な ことも、人生には起こります。先日、私は車で大 通りに出る時に、急に出てきた学生の自転車と 接触し、出会い頭の小さな事故を経験しまし た。幸い自転車の学生に怪我はなく自転車も故 障なし、私の車は傷が少しいた程度でした。警 察の方にも来てもらい、物損の処理をしていた だきました。もっとスピードが出ていて、タイミン グが悪かったら、命を奪っていたかもしれないと 思うとゾッとします。いつも気をつけているつも りですが、まだまだ注意不足の部分もあったと 反省させられる出来事となりました。

ニュースでいろいろな事件を目にすると、大変な 出来事があっても、「自分には起こらない、大丈 夫だ」とどこかで思っていたり、また恐ろしい事 件があっても「自分は絶対にそんなことはしな い」と思っています。でも本当にそう言い切れる のかと、親鸞様が投げかける言葉があります。

「さるべき業縁のもよおせば

いかなるふるまいもすべし



ここでいう業縁とは、分かりや すくいうと、いろいろなことが重 なってしまった時の縁、離れるこ との出来ない自分の縁といった 意味でしょうか。よって意味は 「しかるべき業縁にうながされるならば、どんな 行いもする身である」という意味。もしそうせ ざるをえないような状況に置かれたならば、自 分はどんな悪事もやりかねないのが人間である ということ。人間の本质を見抜いた言葉であり、 普段世の中の出来事と自分を区別して生きて いる自分への自覚の言葉だと思えます。

保護司の仕事(犯罪や非行をしてしまった人

たちの立ち直りを支援する仕事)をしている時 は、月に2回その方と面談をして、いろいろお話をさせていただきました。その方と会う前に、犯罪や非行の内容を教えてもらうのですが、正直、会いたくないなと思う方もいました。ただ、実際に会ってみると、私に対してはみんないい人であり、応援したくなる方ばかりでした。犯罪は肯定出来るものではありませんが、その方の環境、生い立ちを聞くと大変だなと思うこともあり、自分が同じ環境に身を置いたなら、同じことをしているかもしれないと思うことは少なくありませんでした。私の事故も、タイミングがもっと悪かったり、いろいろなことが重なってれば、全く違う結果となっていたかもしれませぬ。そう思いますと、「さるべき業縁のもよおせば、いかなるふるまいもすべし。」という言葉は身につまされます。何事も自分事として物事を見て、考えながら、学びながら、生きていかなければいけないと感じます。お互い事故には十分に注意をしていきましょう。

最後に、去年見た「パーフェクトデイズ」という映画をご紹介します。



ドイツ人のヴィム・ヴェンダースさんが監督、主演が役所広司さんの話題になった映画です。東京で公共トイレの清掃員として働く男性の毎日の日常を描いた作品です。ネタバレになるので、あまり詳しくは書きませんが、いろいろな想像をかきたてられ、考えさせられる映画ではないでしょうか。今、自分に与えられている仕事や、やるべきことを、頑張ろうと思えました。おすすめいたします。(住職)

